

本願寺長野別院からの手紙

<新年号>

(長野別院・定専寺・善立寺)

新年にあたって

本願寺長野別院輪番
長野教区教務所長

酒井 隆哲

みなさま、明けましておめでとうございませす。

昨年十月に、長野教区・本願寺長野別院「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」並びに「本願寺長野別院創立百周年記念法要」を御門主様御親修にて、多くのみなさまにご参拝をいただき、無事盛大におつとめすることができました。

これもひとえに、門信徒のみなさまや長野教区の御寺院のみなさま、有縁の多くの方々のご理解・ご協力・ご協賛のおかげであると、深く感謝を申しあげる次第でございます。

親鸞聖人が説き示してくださいました浄土真宗のみ教え、このみ教えに出遇っていなければ、みなさまとともに集うこともなかったのかもしれない。このご勝縁に出遇わさせていただいた

ことを喜び、これを機縁にますます、ご法義繁昌のため邁進してまいりたいと思っておりますので、みなさまには今後一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて新しい年を迎え、本願寺長野別院において元旦には、元旦会のご法要をおつとめいたしました。そして、京都にありましてご本山の西本願寺においても元旦会のご法要がおつとめされるのですが、もうひとつ「修正会(しゅしようえ)」という法要がおつとめされます。

「修(しゅう)」とは「直す」という意味があり、「修正会」とは「正しく直す法要」ということとなります。これは中国の年始の儀式が日本に伝わったものですが、一年の最初に「正しく直す」ということは、昨年までの自分を振り返ることが必要となります。これまでを振り返らなければ何を直せばよいのかさえわかりません。今一度自分の足元や歩んできた足跡を振り返り、直せることは直し、直すことが出来ないことは「直すこと」の出来ない自分」と気づくことが大切です。

私自身、昨年までの自分を振り返ってみますと、いつも目先のことばかりに気を取られて右往左往しながら過ごしている自分にあつたため気づかされています。物事がうまくいっている間はいのですが、少しでも思い通りにいなくなったり、予想外の事が起こったりすると、怒ったり不安になったりしてしまいます。これが私の本当の姿であります。でもそのような私であるからこそ、この私を目当てとして阿弥陀様は働きかけてくださっています。

阿弥陀如来という仏さまは、南無阿弥陀仏の六字の名号となつて、南無阿弥陀仏という声の『ほとけさま』となつて、私のもとに届いてくださっています。そして、先立つてお浄土に参られた大切な方々も阿弥陀様のもとで仏の身となり、阿弥陀様とともに、今ここに、わたくしのもとにご一緒されています。今年も親鸞聖人のお示しくださいました、この南無阿弥陀仏のお念仏を抛り所として、共に歩んでいければと思うことでございます。本年もどうぞよろしくお願

い申しあげます。

○本願寺長野別院

ホームページの紹介

長野別院のホームページがリニューアル致しました。各種行事予定や、法要のご報告など随時掲載しております。

今後は、記事内容の充実を図り、動画など掲載して、ご門徒さんとの関係を深めるご縁とさせていただきます。是非ご覧ください。

検索「本願寺長野別院」
<https://nagano-hongwanji.jp/>

○参拝記念スタンプの紹介

麻田 弘潤講師による、オリジナル消しゴムはんこ「参拝記念スタンプ」が完成しました。

別院玄關に設置しておりますので、是非講堂「襖絵」見学に併せて、ご来院ください。



本願寺長野別院からの手紙 2025年「新年号」

(長野別院・定専寺・善立寺)

「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年」慶讃法要並びに
「本願寺長野別院創立百周年記念法要」御礼・ご報告

二〇二四（令和六）年十月二十六日（土）・二十七日（日）

の二日間にわたり修行いたしました、長野教区・本願寺長野別院「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」並びに「本願寺長野別院創立百周年記念法要」は、おかげさまで無事盛大に御満座をお迎えすることができました。

ご参拝をいただきました多くの皆さま、そしてこの度の法要にお力添えをいただきました本願寺長野別院門信徒の皆さまや、長野教区ご寺院の皆さま、有縁の皆さまに心より御礼申しあげます。

この法要を機縁に、親鸞聖人の「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」とお示しくださったお言葉を受け止めつつ、自他共に心豊かに生きることできる社会の実現のため、本願寺長野別

院・長野教区教務所職員一同、長野別院門信徒の皆さまとともにさらなる歩みを続けてまいりますのでご理解ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

① 参拝人数のご報告

1日目／10月26日（土）

14時～18時

※長野教区関係者参拝日

2日目／27日（日）

10時30分～16時

※長野別院関係者参拝日

② 関連行事参加者数の報告

・稚児行列 17名

・帰敬式 51名

・消しゴムはんこ 63名

・公開講座 163名

・記念祝賀会 101名

長野別院創立百周年記念法要

報告書は、後日改めて発行いたします。法要行事の一部を、写真にてご報告いたします。



(長野県内より参集された僧侶により厳修)



(各種修復を終え、築50年を迎えた本堂)



(下足のまま出入りが可能となった本堂外陣)



(酒井輪番より参拝者の皆さまへ御礼挨拶)

本願寺長野別院からの手紙 2025 年「新年号」

(長野別院・定専寺・善立寺)



(雅楽の演奏により賑々しく法要を厳修)



(出発地康楽寺より長野別院まで稚児行列を開催)



(帰敬式 51名の方々がご法名を拝受)



(消しゴムはんこにより講堂襖絵が艶やかに完成)



(能登半島地震復興支援として真宗フェスタを開催)



(歴代輪番さん、合計6名ご参加されました)

令和5年度	一般懇志	¥11,138,000 - (806件) 進納率94%
令和5年度	特別懇志	¥10,444,560 - (52件)
令和6年度	一般懇志	¥6,065,000 - (605件) 進納率67%
令和6年度	特別懇志	¥12,061,000 - (171件)

令和7年記念事業①境内地舗装工事 ②合葬墓改修工事等予定

100周年記念事業・記念事業推進懇志の報告

ご門徒・ご関係の皆さまより左記の通り、推進懇志をご進納賜わり厚く御礼申しあげます。

おかげさまで、記念事業修復工事は順調に進み、来年度は境内地の舗装工事を予定しております。また、推進懇志未納の方におかれましては早期納入の方宜しくお願いいたします。



記念法要冊子写真提供

の御礼

このたび、記念法要冊子発行に際し、ご門徒の玉崎さまより、旧本堂にて開催された仏前結婚式の写真を提供いただきました。旧本堂の建立年代はさだかではありませんが、木造建築で約二百年の風雪に耐えてきました。が、老朽化が進み、昭和48年別院創立50年記念事業として全面改修工事が行われ、昭和49年現在の鉄筋造りの本堂が建立された歴史がございます。

なお、写真に掲載されています外陣焼香炉は、現在も使用しております。玉崎さまには貴重な写真を提供いただき、御礼申し上げます。(笠原)



御命日法要・常例法座

毎月16日は親鸞聖人の御命日

ぜひお参りください。

1月16日(木)・17日(金)

講師 柳川 大喜師

(長野県松本市 善福寺)

2月16日(日)・17日(月)

講師 三寄 靈証師

(福井県勝山市 西宮寺)

3月16日(日)・17日(月)

講師 未定

4月16日(水)・17日(木)

講師 麻田 秀潤師

(新潟県小地谷市 極楽寺)

令和7年行事予定

3月20日(木) 13時30分

春彼岸会法要・「物故者

追悼法要並びに永代経法要」

5月中旬

親鸞聖人降誕会法要

8月10日(日) 10時

新盆法要

10月24日(金)～27日(月)

報恩講法要

お晨朝(朝のおつとめ)

毎朝7時30分から8時頃まで

※お経本はご用意しています。

聖徳仏婦例会

1月21日(火) 新年会・雅楽演奏

2月17日(月) 如月忌

3月20日(木) ※彼岸会法要参拝

※令和7年度総会 4月21日(月)

別院仏壮例会

2月5日(水) 18時

3月5日(水) 18時

3月20日(木) 彼岸会法要参拝

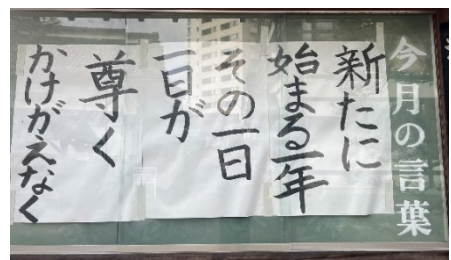
※令和7年度総会 4月2日(水)

令和7年 年回表

1	周忌	・	令和6年
3	回忌	・	令和5年
7	回忌	・	平成31年
13	回忌	・	平成25年
17	回忌	・	平成21年
23	回忌	・	平成15年
25	回忌	・	平成13年
27	回忌	・	平成11年
以降	33・50・100回忌など		

お気軽に、ご法事のご相談は、ご連絡ください。

今月のことば



2025年
 が新たに始
 まりました。
 今年初めて
 の標語は、
 写真の言葉
 になります。
 一年を過ご
 す中で、鮮

明に思い返すことのできる日は
 いったいいく日あることでは
 いか。私自身今年もなんとなく
 生きてしまうのではないかなと
 考えたりします。

ただし、お釈迦様が説かれた
 ように、この世は諸行無常であ
 ります。もしかしたら、明日も
 う目が覚めることはないかもし
 れないのちを抱えているとい
 うこと。そう考えますと、この
 なんとなく過ごす一日一日が、
 二度と繰り返すことのできない
 大切な一日であったと思ひ返せ
 るよう、標語にいたしました。

(河野)